

そんなにお金を
使わずに、
急に失速しないか
シンパイドよ

借金をどんどん
増やしても
右肩がりの
高度成長!

増え続ける借金
に危機感を
抱いたところから
誕生しました。

「民主党」

自民党は、たくさんお金を使って、
借金を増やしても
「いま」を盛り上げ
ようとする政権

民主党は皆さんとの約束を実現できず、
ご期待にこたえることができませんでした。
申し訳ありませんでした。

中でも、私たちが
何をめざし、どんな
社会像を描いていたかを
ご説明できていませんでした。

民主党がめざす 政策の原点

アンシン
だね

借金を減らして
継続安定飛行。
未来へもっと
長く飛ばすこと
ができる。

「いま」だけでなく
「ずっと」豊かで
平和な日本を
守りたいという
想いがあります。

民主党は「これから」のために、
私たちが少しずつ痛みを共有して

だからこそ
民主党
がめざす政策
それは

子どもたちの成長と
輝かしい未来とともに、
社会の安定と発展への願いを
政策に込めています。

子ども手当
公共事業
高校の無償化

だからこそ、これからの
子どもを育てるために
コンクリートからヒトへを
合言葉に

このままでは、
日本は借金まみれで壊れてしまいます。
痛みは伴うけど、少しずつ節約しよう！
絶対必要なところにお金を使おう。

「事業仕分け」を行なったのは
その象徴です。

どんどん
お金を使うのを
見直して、少し節約
できませんか？

私たちは、
平和で豊かな社会を
つくるために努力を
続けていきます。

私たちが民主党のもとに
集った仲間、
「アリ」となって、
先人達の築いてきた
豊かで平和な日本を
子どもたちに
残したい。
その想いをもって
今も地域で
活動しています。

「アリとキリギリス」という童話を
ご存知ですか？

キリギリスは
「今」は
楽しいかも
しれない。
冬になると
大変です。

民主
民主党愛知県連
名古屋市議員特集号

2014年冬月号 2014年11月発行
民主党プラス民主編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1
1F 03-3595-9988 (代表)
民主党愛知県連プラス民主編集部
〒461-0001 名古屋市中区奥 1-12-34 セントラルアベニュー 1223 9F
TEL 052-951-7881

民主党は名古屋市議員選挙
(南区) 公認決定しました！
政策を特集します。

生まれ育った南区のために！



HASHIMOTO HIROKI 橋本ひろき

南区の暮らしには、災害に対する安全と、高齢者に優しい公共サービスの充実が必要です。
そして、これからの市政に想いを馳せるとき、伸びゆく子どもを、大切に育てることが将来のこの国と地域のために大切だと信じています。
「いま」と「これから」に責任を持つことは、目の前の状況を的確に把握し、パフォーマンスではなく「できること」「できないこと」を
正直に提案し、信頼できる政治で、暮らしやすい南区をつくるのが、私の南区の皆さんへの約束です。

■Profile
生まれも育ちも、南区笠寺
名古屋市議員 南区
橋本ひろき 35歳

趣味 スポーツ・スポーツ観戦
昭和54年6月30日 南区笠寺町生まれ、
南区育ちの35歳
笠寺小学校、本城中学校、中京大学
附属中京高校、中京大学法学部卒業
小学校3年生でリトルリーグ入団以来、
野球ひと筋。
中京大中京高校時代は一塁手として
春のセンバツ甲子園で全国準優勝!!
決勝戦では最後のバッターで三振…
大学卒業と同時に行政書士事務所を
開業、事務所経営の傍ら2003年より
衆議院議員秘書として政治を学ぶ。

笠寺消防団 団員
名古屋スポーツ推進審議会委員
名古屋社会福祉審議会委員

行政書士/宅地建物取引主任者

2007年 名古屋市議員当選
2011年 名古屋市議員落選
2013年 名古屋市議員補欠選挙当選
2014年 教育子ども委員会 委員長
公社対策特別委員会 委員

橋本ひろき、3つの政策

お年寄りから子どもまで、
皆がいきいきと元気に暮らせる南区へ

- 敬老パスを名鉄・JRでも利用可能に
 - 鉄道駅のバリアフリー化
 - 名鉄本線の立体交差事業の実現
敬老パスの利用拡大と、事故と渋滞を緩和する立体交差事業を実現します。
- 地震・津波対策、豪雨対策を
優先的に実施し、災害に強い南区へ
 - 他区に先がけて豪雨対応60mm/時を実現!(H26年現在)さらに床下浸水ゼロに
 - 東南海地震に備え、高潮防波堤整備とともに、津波避難ビルの整備
南区の災害対策を実現し、避難所の整備や物資の確保など有事に備えます。
- 子育てしやすく、子どもが
元気でまっすぐ育つまち南区へ
 - 給食費無料化
 - 子育て世帯への経済的支援「子育てパウチャー」
 - 保育園整備と、急なニーズに対応する一時保育、お母さん応援リフレッシュ保育の拡充
子育て家庭への経済的支援と、お母さんを応援する施策を充実させます。

橋本ひろき後援会事務所
〒457-0058 名古屋市中区前浜3-21
TEL:052-821-7776 FAX:052-883-8511
※南区役所正面の通りを挟んだ真向いです。
Mail:minami@hiroki-h.net
Web:http://hiroki-h.net/

民主党名古屋市議員団 政策理念

私たちは、バランスの良い名古屋市政を実現する事でこれからの社会を支え、
施策の選択と集中で“次世代に豊かな社会をつなぐ”ことをスローガンに
みなさんの負託にお応えしていきたいと考えています。



1. シニア世代のみなさんと、 もっと社会づくりを分かち合う事。



敬老パスには、福祉としての側面だけでなく、使っていただく事で、経済効果と医療費抑制効果が見込まれています。敬老パスで積極的に出歩いていただく事で、市内の経済が活性化し、運動量増加による健康効果も見込まれ、医療費の抑制にもつながっています。この事業価値の高い敬老パスを堅持し、高齢の方々がこれからも元気に社会参画できる環境づくりを行ないます。

人生の先輩のみなさんへ

お仕事をされている方、お仕事を引退された方、あるいは家事を支える引退のないお母さん方も、皆さんがいきいきと、健康に、これからも社会と関わりを持っていただくために、私たちは敬老パスを堅持します。ぜひこれからも社会の一員として、地域社会をお支えいただきますようお願いいたします。

2. 徹底した行政改革と、未来を育てることで、 将来への不安を解消していくこと。



次の世代へ過度な“負債”を残さないために。
“あれもこれも”から“あれかこれか”へ。できる事、できない事を正直に提案する政治を実現します。
事業仕分けの意味をご存知ですか? 評価対象事業を吊り上げる事が事業仕分けの目的ではありません。その対象事業に大義はあるか、社会的価値とニーズはあるか、生産性はあるか、経済効果はあるか。これらを評価し、限りある大切な税金が無駄に使われないよう、私たちはこの精神で日々の名古屋市政を見つめています。

日々社会でたたかい、働くみなさんへ

日頃からのお勤め、お疲れさまです。大切なお給料の中から納めていただいている税金が、無駄に使われる事がないよう最善を尽くします。私たちは、持続させる事が難しい過剰な公共サービスを見直し、子どもたちを育てる事に集中投資する、“ひとを育てる”政治に転換する事が必要だと考えています。優秀な子どもがたくさん育つ事にこそ、この国の明るい未来があることを私たちは確信しています。



3. 子どもが、育ち、学ぶ事を 社会が保証する事。



経済的事情で、高校や大学進学を諦めなければならない子どもたちを救えるよう、奨学金制度の充実や、返還不要制度の創設を、また民主党政権で実現したものの、現政権で後退してしまった高校授業料無償化など、学ぶ事を公がきちんと支えられる環境づくりに全力で取り組みます。

次の世代を担う子どもたちへ

私たちは、みなさんが大人になったとき、安心して仕事をし、結婚し、子どもを育てられるよう、豊かな日本のバトンをつなぐために、責任をもって仕事をします。皆さんは、しっかり勉強し、経験し、社会を支える大人になってください。

4. “未来の担い手”子どもを 産み育てる事を応援すること。



バランスの良い子育て環境を実現するために、偏りがちな行政サービスを見直します。例えば、保育園。働くお母さんにとって大切な施策である事は間違いありません。しかし保育園待機児童のことが社会問題として取り上げられ、在宅で子育てするお母さんへの支援は見落とされがちになっています。働くお母さんも、在宅でお子さんを育てるお母さんも、それぞれに抱える悩みがあります。私たちは、待機児童ゼロの実現とともに、一時保育、リフレッシュ保育の受け入れ枠を、来年度からの5年間で、今の1.7倍にする計画の着手を取り付けました。さらに、トワイライトスクール・ルーム、学童保育への充実支援に着手し、子どもたちが健やかに育つ、バランスの良い子育て支援を目指しています。

子育てに頑張るお母さんへ

お母さんが、子どもと全力で向き合っているのを私たちは知っています。
特に3歳児未満の子どもを育てるお母さんは、24時間、授乳や夜泣き、子どもの急な発熱や安全に、心を砕く必要がある事を。私たちはバランスの良い子育て支援で、お母さんを支える事をお約束します。

5. いのちと生活をつなぐこと。

全ての方へ

私たちの最大使命は、市民の生命、財産を守る事です。
東日本大震災からの教訓を受け、災害時に子どもたちを守るために、学校を耐震化しました。そして全市の避難所の整備、港区や南区をはじめとする沿海地域での津波避難ビルや、防潮堤の整備などを進めています。そして平和な社会を子どもたちに変わらず引き継いでいけるよう、責任ある“いま”の担い手として努力する事をお約束します。